

古河電工グループ 2025年度第3四半期決算

2026年2月9日

古河電気工業株式会社

代表取締役 兼 執行役員常務 財務本部長 青島 弘治

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の実事に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・ 米国、欧州、日本その他のアジア諸国等の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・ 米ドル、ユーロ、アジア諸国等の各通貨の為替相場の変動
- ・ 急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・ 財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・ 諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・ 当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

25年度第3四半期実績および25年度通期予想

- 25年度Q3決算のポイント
- 25年度Q3実績
 - 要約P/L
 - 売上高・営業利益の増減要因
- 25年度通期予想
 - 要約P/L
 - セグメント別 営業利益
- セグメント別 売上高・営業利益
- 25年度Q3実績-要約B/S
- 設備投資額・減価償却費・研究開発費
- 26年度に向けて
- 株主還元

補足資料 - Appendix

25年度第3四半期実績および25年度通期予想

25年度Q3決算のポイント

■ 前年比増収、各段階損益で増益

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)	FY24_Q3 累計	FY25_Q3 累計	前年比
	a	b	b-a
売上高	8,820	9,489	+669
営業利益	314	351	+37
経常利益	361	408	+46
親会社株主に帰属する 当期純利益	164	355	+191
銅建値 平均	1,481	1,559	+78
為替 平均	153	149	▲4

● インフラセグメント好調

● 銅価高騰の影響

● 政策保有株式の売却益

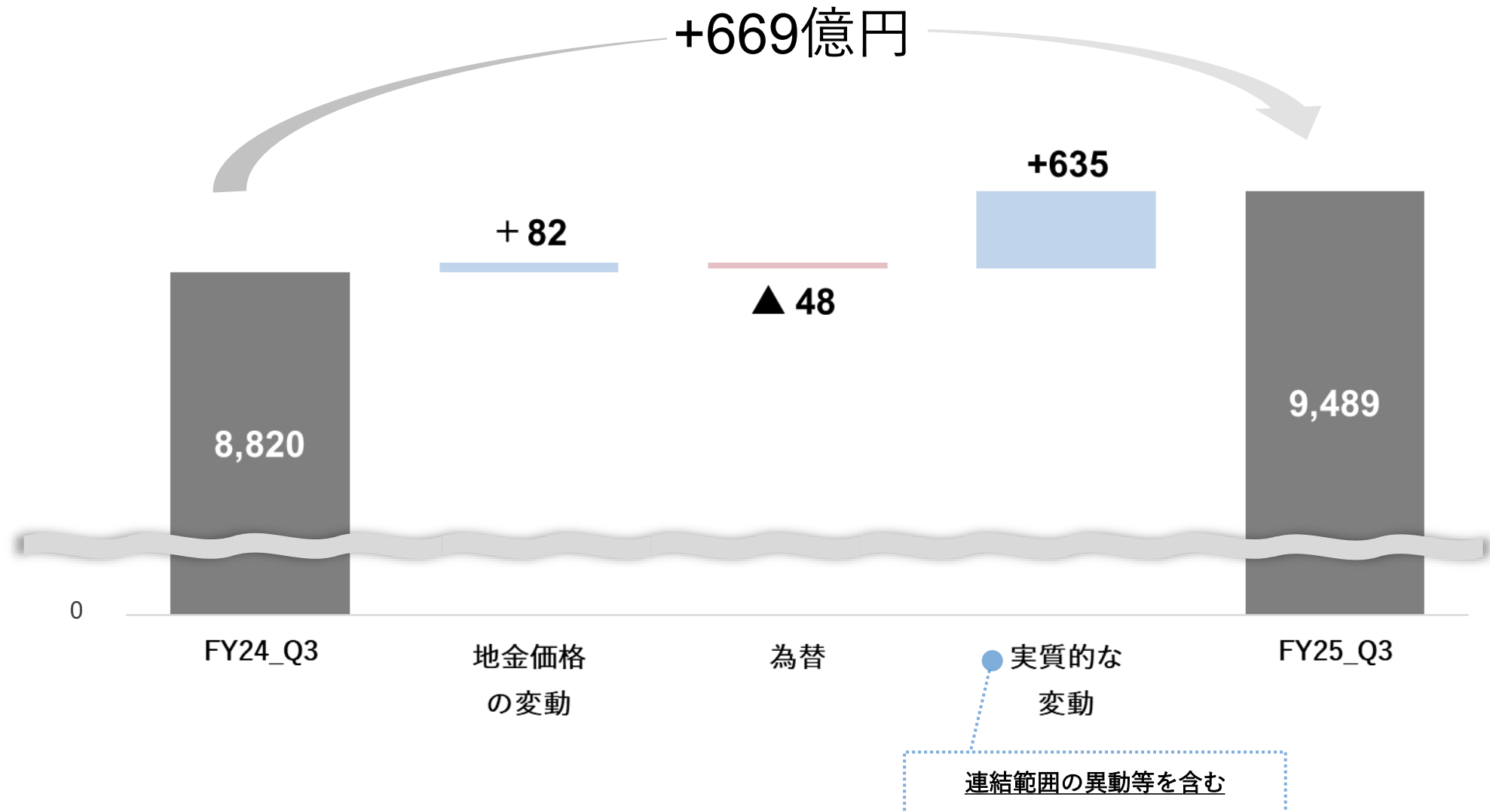
25年度Q3実績-要約P/L

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)

	FY24_Q3累計		FY25_Q3累計		前年比		主な増減内訳 (Q3累計前年比)
	10-12		10-12		10-12		
	a'	a	b'	b	b'-a'	b-a	
売上高	3,116	8,820	3,382	9,489	+266	+669	7ページ参照
営業利益	139	314	159	351	+21	+37	8ページ参照
(率)	4.4%	3.6%	4.7%	3.7%	+0.3	+0.1	
受取/支払利息	▲ 19	▲ 59	▲ 22	▲ 61	▲ 3	▲ 2	
持分法投資損益	21	82	43	93	+22	+11	
為替損益	22	▲ 4	12	▲ 8	▲ 10	▲ 4	
経常利益	171	361	204	408	+33	+46	
(率)	5.5%	4.1%	6.0%	4.3%	+0.5	+0.2	
特別損益	▲ 46	▲ 77	102	106	+148	+183	・ 特別利益：+175 (18→193)
法人税等	▲ 65	▲ 96	▲ 74	▲ 137	▲ 10	▲ 41	・ 特別損失：+8 (▲ 95→▲ 87)
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 9	▲ 25	▲ 6	▲ 21	+3	+4	
親会社株主に帰属する 当期純利益	52	164	226	355	+174	+191	
(率)	1.7%	1.9%	6.7%	3.7%	+5.0	+1.9	
銅建値 平均	1,449	1,481	1,753	1,559	+304	+78	
為替 平均	152	153	154	149	+2	▲ 4	

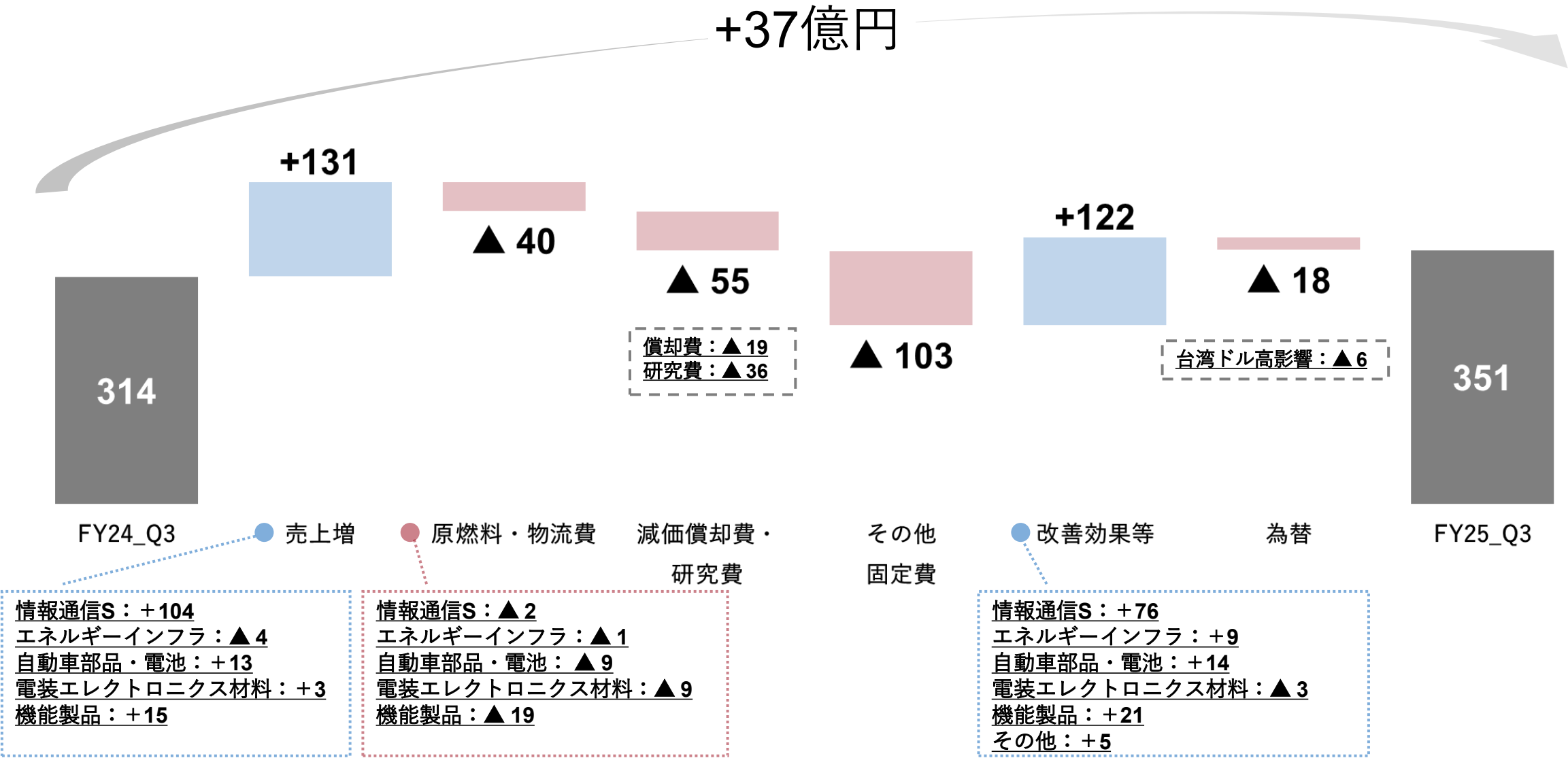
25年度Q3実績-売上高の増減要因

(単位：億円)



25年度Q3実績-営業利益の増減要因

(単位：億円)



25年度通期予想-要約P/L

■ 売上高および各段階損益の通期予想を上方修正

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)

	FY24 ^{*1}	FY25 前回予想 ^{*2}	FY25 予想	前年比	前回予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	12,018	12,000	13,000	+982	+1,000
営業利益	470	530	560	+90	+30
(率)	3.9%	4.4%	4.3%	+0.4	▲ 0.1
受取/支払利息	▲ 80	—	—	—	—
持分法投資損益	106	—	—	—	—
為替損益	▲ 22	—	—	—	—
経常利益	485	520	650	+165	+130
(率)	4.0%	4.3%	5.0%	+1.0	+0.7
特別損益	55	60	165	+110	+105
法人税等	▲ 167	—	—	—	—
非支配株主に帰属する 当期純利益	▲ 39	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	334	360	540	+206	+180
(率)	2.8%	3.0%	4.2%	+1.4	+1.2
銅建値 平均	1,478	1,398	1,694	+216	+296
為替 平均	153	143	149	▲ 4	+6

- データセンタ関連製品の売上増、自動車部品事業の堅調な推移
- 銅価高騰の影響
(電装エレクトロニクス材料・銅箔)

- 持分法投資利益の増加
- 為替差損益の改善

- 株価上昇による退職給付制度改定益（特別利益）の増加

前回予想時H2前提
銅建値：1,335円/kg
為替：140円/米ドル

Q3実績
銅建値：1,753円/kg
為替：154円/米ドル
Q4前提
銅建値：2,100円/kg
為替：150円/米ドル

*1 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定（FY25_Q3）に伴うリステイト（Appendix 1-1. 参照）

*2 2025/5/13公表

25年度通期予想-セグメント別 営業利益

主なセグメントの営業利益

(単位：億円)

セグメント	サブセグメント	H1 実績	H2 予想	FY25 前回 予想 ^{*1}	H1 実績 ^{*2}			H2 予想	FY25 予想	前回 予想比	通期予想 主な修正要因
						Q3 実績	Q4 予想				
				a					b	b-a	
インフラ	情報通信 ソリューション	1	74	75	▲ 0	27	73	100	100	+25	データセンタ関連製品の売上増 (増産投資効果の発現)
	エネルギー インフラ	26	39	65	26	30	24	54	80	+15	堅調な需要・価格適正化
電装 エレクトロ ニクス	自動車部品・ 電池	108	112	220	108	81	71	152	260	+40	価格適正化・固定費抑制等
	電装エレクトロニ クス材料	22	28	50	22	3	15	18	40	▲ 10	銅価高騰
機能製品		74	96	170	74	33	43	76	150	▲ 20	銅価高騰 半導体製造用テープの回復遅れ
連結合計 (サービス・開発等、消去等を含む)		194	336	530	192	159	209	368	560	+30	

^{*1} 2025/11/10公表 (2025/8/7公表値を据え置き)

^{*2} 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定 (FY25_Q3) に伴うリステイト (Appendix 1-2.参照)

セグメント別 売上高・営業利益（Q3累計・通期予想）

（単位：億円）

	売上高			営業利益			売上高					営業利益				
	FY24_Q3	FY25_Q3	前年比	FY24_Q3	FY25_Q3	前年比	FY24 ^{*1}	FY25 前回予想 ^{*2}	FY25 予想	前年比	前回 予想比	FY24 ^{*1}	FY25 前回予想 ^{*2}	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	b-a	c	d	d-c	e	f	g	g-e	g-f	h	i	j	j-h	j-i
インフラ	2,225	2,621	+396	7	82	+75	3,091	3,750	3,750	+659	—	57	140	180	+123	+40
情報通信ソリューション	1,196	1,594	+398	▲ 59	27	+85	1,670	2,350	2,350	+680	—	▲ 41	75	100	+141	+25
エネルギーインフラ	1,029	1,027	▲ 2	66	56	▲ 10	1,421	1,400	1,400	▲ 21	—	98	65	80	▲ 18	+15
電装エレクトロニクス	5,403	5,598	+195	223	214	▲ 9	7,364	6,650	7,700	+336	+1,050	326	270	300	▲ 26	+30
自動車部品・電池	2,984	3,055	+71	186	190	+4	4,095	3,700	3,950	▲ 145	+250	276	220	260	▲ 16	+40
電装エレクトロニクス材料	2,419	2,543	+124	37	25	▲ 12	3,270	2,950	3,750	+480	+800	50	50	40	▲ 10	▲ 10
機能製品	1,121	1,192	+71	122	106	▲ 16	1,470	1,600	1,550	+80	▲ 50	141	170	150	+9	▲ 20
サービス・開発等	262	304	+42	▲ 38	▲ 50	▲ 13	348	400	400	+52	—	▲ 54	▲ 50	▲ 70	▲ 16	▲ 20
連結消去	▲ 191	▲ 226	▲ 35	▲ 1	▲ 1	▲ 0	▲ 256	▲ 400	▲ 400	▲ 144	—	▲ 1	0	0	+1	—
連結合計	8,820	9,489	+669	314	351	+37	12,018	12,000	13,000	+982	+1,000	470	530	560	+90	+30

*1 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定（FY25_Q3）に伴うリスティト（Appendix 1-2. 参照）

*2 2025/11/10公表（2025/8/7公表値を据え置き）

1-(1) インフラ(情報通信ソリューション)

FY25_Q3累計

(単位：億円)

	FY24_Q3	FY25_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,196	1,594	+398
営業利益	▲ 59	27	+85

【増減益要因】

(+) データセンタ向け製品等の売上増

(±) 新規連結の影響

*1 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定 (FY25_Q3) に伴うリスティト (Appendix 1-2. 参照)

*2 2025/11/10公表 (2025/8/7公表値を据え置き)

*3 Distributed Feedback Laser (分布帰還型レーザー)

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24 ^{*1}	FY25 前回予想 ^{*2}	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,670	2,350	2,350	+680	—
営業利益	▲ 41	75	100	+141	+25

事業環境の認識

>>

FY25_H1

FY25_H2

>>

データセンタ市場向け需要増

(データセンタ事業者・ダークファイバプロバイダ・通信システムプロバイダ)

注力ポイント

・ データセンタ向け製品の開発・増産・拡販

ローラブルリボンケーブル・
ソリューション

MTフェルルール

DFBレーザーチップ^{*3}

1-(2) インフラ(エネルギーインフラ)

FY25_Q3累計

(単位：億円)

	FY24_Q3	FY25_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,029	1,027	▲ 2
営業利益	66	56	▲ 10

【増減益要因】

- ・ 国内超高压・再エネ関連・機能線（建設・電販市場向け除く）の需要が引き続き堅調

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,421	1,400	1,400	▲ 21	—
営業利益	98	65	80	▲ 18	+15

事業環境の認識

>>	FY25_H1	FY25_H2	>>
国内超高压	堅調な国内地中線の更新・再エネ関連需要		
海底線			
機能線/部品	堅調な需要		
中国事業	Q4から非連結化予定 (瀋陽古河電纜有限公司)		

注力ポイント

- ・ ケーブル製造および工事施工能力の増強

国内超高压・海底線

再エネ関連

- ・ マーケティング活動の推進による拡販

らくらくアルミケーブル®

送配電部品

* 2025/11/10公表（2025/8/7公表値を据え置き）

2-(1) 電装エレクトロニクス(自動車部品・電池)

FY25_Q3累計

(単位：億円)

	FY24_Q3	FY25_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	2,984	3,055	+71
営業利益	186	190	+4

【増減益要因】

(+) 自動車部品事業は堅調

(-) 自動車向け電池の売上減少

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想 *1	FY25 予想	前年比 *2	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	4,095	3,700	3,950	▲ 145	+250
営業利益	276	220	260	▲ 16	+40

事業環境の認識

>>

FY25_H1

FY25_H2

>>

自動車
部品

自動車生産台数は前年並み

中国・東南アジア市場での売上減

電池

Q4から非連結化

注力ポイント

- ・ 米国関税措置への対応
- ・ 組立の自動化
- ・ 電動車市場に向けた製品開発

アルミワイヤハーネス・高電圧対応品

*1 2025/11/10公表 (2025/8/7公表値を据え置き)

*2 電池事業非連結化の影響

売上高 : ▲ 約210億円

営業利益 : ▲ 約20億円

2-(2) 電装エレクトロニクス(電装エレクトロニクス材料)

FY25_Q3累計

(単位：億円)

	FY24_Q3	FY25_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	2,419	2,543	+124
営業利益	37	25	▲ 12

【増減益要因】

(一) 為替・銅価による影響

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想 *1	FY25 予想	前年比	前回 予想比 *2
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	3,270	2,950	3,750	+480	+800
営業利益	50	50	40	▲ 10	▲ 10

事業環境の認識

>>

FY25_H1

FY25_H2

>>

エレクトロニクス関連製品需要は回復傾向

銅価高騰

注力ポイント

- 高付加価値製品の拡販による製品ミックス改善

無酸素銅製品群
(パワー半導体・放熱部品用)リボン線・角線
(高性能インダクタ・メモリ用)高機能抵抗材
(スマートフォン・xEV用)

- 販売価格の適正化と低採算品種の撤退

*1 2025/11/10公表 (2025/8/7公表値を据え置き)

*2 銅価・為替変動の影響を含む

3 機能製品

FY25_Q3累計

(単位：億円)

	FY24_Q3	FY25_Q3	前年比
	a	b	b-a
売上高	1,121	1,192	+71
営業利益	122	106	▲ 16

【増減益要因】

(+) データセンタ関連製品の売上増

(-) 台湾ドル高・銅価高騰の影響
(銅箔)(-) 主要顧客の需要変化
(半導体製造用テープ)

FY25_通期予想

(単位：億円)

	FY24	FY25 前回予想*	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	1,470	1,600	1,550	+80	▲ 50
営業利益	141	170	150	+9	▲ 20

事業環境の認識

>>

FY25_H1

FY25_H2

>>

データセンタ関連投資の活況継続

為替（台湾ドル高）・銅価高騰

中国の半導体内製化進行

注力ポイント

- データセンタや再エネ関連市場向け高付加価値製品の増産・拡販

半導体
製造用テープ高機能
フォーム製品高機能放熱・
冷却製品HDD用薄型
アルミ blanks 材高周波基板用
銅箔

* 2025/11/10公表（2025/8/7公表値を据え置き）

25年度Q3実績-要約B/S

(単位：億円)	FY24末*	FY25_Q3末	増減
	a	b	b-a
流動資産	5,564	5,931	+367
現金及び預金	600	720	+121
受取手形、売掛金及び契約資産	2,606	2,649	+43
棚卸資産計	1,950	2,088	+138
固定資産	4,316	4,349	+33
有形固定資産	2,770	2,619	▲ 151
無形固定資産	240	239	▲ 1
投資その他の資産	1,306	1,490	+184
資産合計	9,881	10,280	+399
流動負債	3,945	4,326	+381
固定負債	2,198	2,013	▲ 185
負債合計	6,143	6,338	+196
株主資本	2,915	3,194	+279
その他の包括利益累計額	499	583	+83
非支配株主持分	323	164	▲ 159
純資産合計	3,738	3,941	+204
負債・純資産合計	9,881	10,280	+399
自己資本比率	34.6%	36.7%	+2.1
NET有利子負債	2,462	2,454	▲ 8
NET D/Eレシオ	0.72	0.65	▲ 0.07

資産合計 399億円 増加

古河電池グループ再編	▲ 520億円	} 運転資本等 560億円
現金及び預金	+ 160億円	
受取手形、売掛金及び契約資産	+ 200億円	
たな卸資産	+ 200億円	
投資有価証券	+ 100億円	
為替影響	+ 50億円	
連結範囲の異動	+ 100億円	

* 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定（FY25_Q3）に伴うリスティト（Appendix 1-3. 参照）

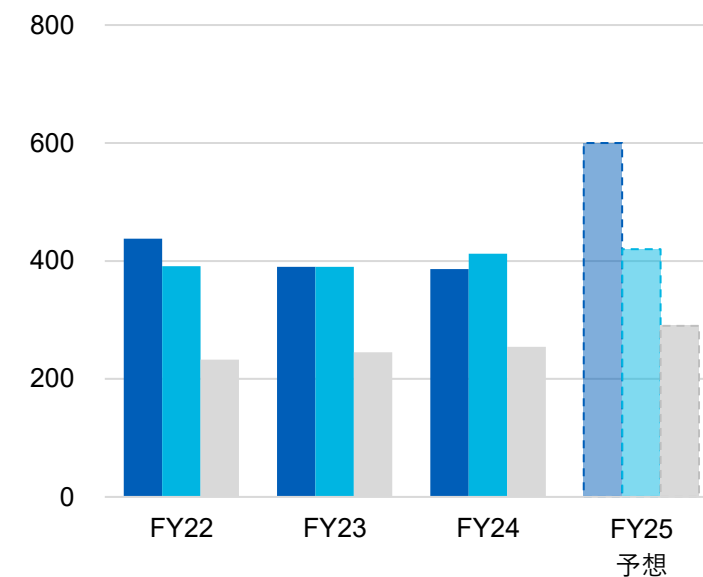
設備投資額・減価償却費・研究開発費

■ 通期予想は据え置き

	(単位：億円)							
	FY24_Q3	FY25_Q3	前年比	FY24 ^{*1}	FY25 前回予想 ^{*2}	FY25 予想	前年比	前回 予想比
	a	b	b-a	c	d	e	e-c	e-d
設備投資額	238	358	+120	386	600	600	+214	—
減価償却費	304	324	+19	414	420	420	+7	—
研究開発費	191	226	+36	254	290	290	+36	—

(単位：億円) 25中計期間の推移

■ 設備投資額 ■ 減価償却費 ■ 研究開発費



^{*1} 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定（FY25_Q3）に伴うリステイト

^{*2} 2025/11/10公表

26年度に向けて

- データセンタ関連製品の需要は引き続き旺盛
- 需要捕捉のための積極的な増産投資を実施

26年度 主なセグメントの営業利益イメージ

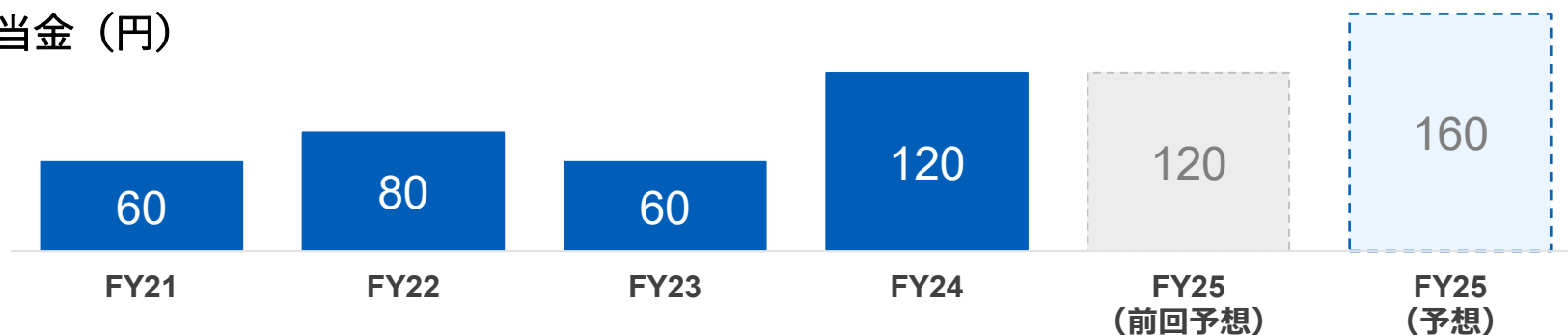
(単位: 億円)

セグメント	サブセグメント	FY24 実績*	FY25予想		FY26 予想	前提
			H1 実績*	H2 予想		
インフラ	情報通信 ソリューション	▲ 41	▲ 0	100	100	データセンタ関連製品等の売上増 (ローラブルリボンケーブル、MTフェルール、DFBレーザチップ等)
	エネルギー インフラ	98	26	54	80	超高圧地中線・再エネ関連・機能線・送配電部品の需要は 堅調
電装 エレクトロ ニクス	自動車部品・ 電池	276	108	152	260	電池事業の非連結化(25Q4～)の影響 顧客の自動車生産台数はFY25並み
	電装エレクトロ ニクス材料	50	22	18	40	大きな需要環境の変化はない ※銅価変動影響を注視
機能製品		141	74	76	150	データセンタ関連製品等の売上増 (放熱・冷却製品、高周波基板用銅箔、半導体製造用テープ等)

* 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定 (FY25_Q3) に伴うリスティト (Appendix 1-2. 参照)

- 期末配当は、1株当たり160円を予想しております
(2025年5月13日公表の120円から40円増加)

1株当たりの年間配当金 (円)



親会社株主に帰属する 当期純利益	101億円	159億円	65億円	334億円*	360億円	540億円
配当性向	41.8%	35.4%	64.9%	25.4%*	23.5%	20.9%

株主還元の方針

安定的かつ継続的に株主還元していくことを基本方針とし、親会社株主に帰属する当期純利益の30%を目途として業績に連動した配当を実施

* 企業結合に係る暫定的な会計処理の確定 (FY25_Q3) に伴うリステイト (Appendix 1-1. 参照)

All to brighten the world

FURUKAWA
ELECTRIC

ご清聴ありがとうございました

Thank You

古河電工グループ パーパス

「つづく」をつくり、
世界を明るくする。



補足資料 - Appendix

1. FY25_Q3からの変更点（P/L・セグメント別 営業利益・B/S）
2. セグメント別 25中計目標（売上高・営業利益）
3. セグメントと事業部門

Appendix 1-1. FY25_Q3からの変更点 P/L

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定（FY25_Q3）に伴うリステイト

（単位：億円）

	FY24		FY25_H1	
売上高	12,018	12,018	6,107	6,107
営業利益	471	470	194	192
(率)	3.9%	3.9%	3.2%	3.1%
受取/支払利息	▲ 80	▲ 80	▲ 39	▲ 39
持分法投資損益	106	106	51	51
為替損益	▲ 22	▲ 22	▲ 20	▲ 20
経常利益	486	485	205	204
(率)	4.0%	4.0%	3.4%	3.3%
特別損益	55	55	4	4
法人税等	▲ 168	▲ 167	▲ 63	▲ 63
非支配株主に帰属する				
当期純利益	▲ 40	▲ 39	▲ 16	▲ 15
親会社株主に帰属する				
当期純利益	334	334	129	129
(率)	2.8%	2.8%	2.1%	2.1%
銅建値 平均	1,478	1,478	1,461	1,461
為替 平均	153	153	146	146

Appendix 1-2 . FY25_Q3からの変更点 セグメント別 営業利益

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定（FY25_Q3）に伴うリステイト

(単位：億円)		FY24		FY25_H1	
インフラ		58	57	27	26
情報通信ソリューション	▲ 40		▲ 41	1	▲ 0
エネルギーインフラ	98		98	26	26
電装エレクトロニクス	326		326	131	131
自動車部品・電池	276		276	108	108
電装エレクトロニクス材料	50		50	22	22
機能製品	141		141	74	74
サービス・開発等	▲ 54		▲ 54	▲ 37	▲ 37
連結消去	▲ 1		▲ 1	▲ 1	▲ 1
連結合計	471		470	194	192

Appendix 1-3. FY25_Q3からの変更点 B/S

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定（FY25_Q3）に伴うリステイト

(単位：億円)	FY24末		FY25_H1末	
流動資産	5,564	5,564	5,791	5,791
現金及び預金	600	600	666	666
受取手形、売掛金及び契約資産	2,606	2,606	2,625	2,625
棚卸資産計	1,950	1,950	2,057	2,057
固定資産	4,306	4,316	4,528	4,536
有形固定資産	2,770	2,770	2,806	2,806
無形固定資産	229	240	243	253
投資その他の資産	1,307	1,306	1,479	1,477
資産合計	9,870	9,881	10,319	10,327
流動負債	3,945	3,945	4,377	4,377
固定負債	2,192	2,198	2,093	2,097
負債合計	6,137	6,143	6,470	6,474
株主資本	2,915	2,915	2,952	2,952
その他の包括利益累計額	499	499	578	578
非支配株主持分	319	323	320	324
純資産合計	3,733	3,738	3,850	3,853
負債・純資産合計	9,870	9,881	10,319	10,327
自己資本比率	34.6%	34.6%	34.2%	34.2%
NET有利子負債	2,462	2,462	2,752	2,752
NET D/Eレシオ	0.72	0.72	0.78	0.78

Appendix 2. セグメント別 25中計目標（売上高・営業利益）

（単位：億円）

(単位：億円)		FY22			FY23			FY24（リステイト後） ^{*1}			FY25予想			FY25目標 (2022年5月26日公表)		
		売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	率
インフラ		3,239	86	2.7%	2,782	▲113	▲ 4.0%	3,091	57	1.8%	3,750	180	4.8%	3,600	160	4.4%
	情報通信ソリューション	2,176	65	3.0%	1,680	▲130	▲ 7.7%	1,670	▲41	▲ 2.5%	2,350	100	4.3%	2,300	115	5.0%
	エネルギーインフラ	1,063	21	2.0%	1,102	17	1.6%	1,421	98	6.9%	1,400	80	5.7%	1,300	45	3.5%
電装エレクトロニクス		6,103	47	0.8%	6,537	187	2.9%	7,364	326	4.4%	7,700	300	3.9%	5,900	235	4.0%
	自動車部品・電池	3,374	15	0.4%	3,798	156	4.1%	4,095	276	6.7%	3,950	260	6.6%	3,300	165	5.0%
	電装エレクトロニクス材料	2,730	32	1.2%	2,739	31	1.1%	3,270	50	1.5%	3,750	40	1.1%	2,600	70	2.7%
機能製品※		1,265	42	3.3%	1,154	55	4.8%	1,470	141	9.6%	1,550	150	9.7%	1,650	195	11.8%
サービス・開発等		317	▲ 21	▲ 6.6%	316	▲19	▲ 6.0%	348	▲54	▲ 15.4%	400	▲70	▲ 17.5%	400	▲10	▲ 2.5%
合計（消去等を含む）		10,663	154	1.4%	10,565	112	1.1%	12,018	470	3.9%	13,000	560	4.3%	11,150	580	5.2%

※参考

機能製品 （特殊要因 ^{*2} を除く）	1,142	18	1.6%	1,154	55	4.8%	1,470	141	9.6%	1,550	150	9.7%	1,433	153	10.7%
----------------------------------	-------	----	------	-------	----	------	-------	-----	------	-------	-----	------	-------	-----	-------

*1 Appendix 1-2. 参照

*2 FY22Q4より東京特殊電線（株）連結除外

円/kg、円/米ドル	FY22	FY23	FY24	FY25（予想）	FY25目標
銅建値平均	1,209	1,262	1,478	1,694	1,085
為替平均	135	145	153	149	110

Appendix 3. セグメントと事業部門

Segment	Sub-segment	Business Division
インフラ	情報通信ソリューション	光ソリューション（ファイバ・ケーブル）
		ファイテル製品
		ブロードバンドソリューション
	エネルギーインフラ	電力
		産業電線・機器
電装エレクトロニクス	自動車部品・電池	自動車部品
		電池
	電装エレクトロニクス材料	導電材
		銅条・高機能材
機能製品		AT・機能樹脂
		サーマル・電子部品
		メモリーディスク
		銅箔
サービス・開発等		